



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 トレイダーズホールディングス株式会社
 コード番号 8704 URL <http://www.tradershd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金丸 勲
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 朝倉 基治
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-4330-4700

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,167	107.7	2,955	108.9	1,328		1,294		1,147	
2019年3月期第2四半期	1,524	37.4	1,414	44.5	273		347		518	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,139百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 518百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	7.87	
2019年3月期第2四半期	5.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	47,741	4,429	9.3	30.37
2019年3月期	36,973	3,289	8.9	22.55

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,428百万円 2019年3月期 3,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,880	26.3	1,810	70.6	1,750	102.5	1,430		9.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	145,804,736 株	2019年3月期	145,804,736 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	14,585 株	2019年3月期	14,585 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	145,790,151 株	2019年3月期2Q	103,366,428 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、通商問題に起因する海外経済の不確実性もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。一方、海外景気はアジア・ヨーロッパの一部に弱い動きがみられたものの、先進国を中心に緩やかな回復傾向が続きました。

外国為替（以下、「FX」といいます。）市場におきましては、2019年7月に1米ドル＝108円台で始まった米ドル/円相場は、狭いレンジでの推移が続きました。しかし、8月に入ってから米中通商摩擦の悪化懸念の高まりや世界経済減速への警戒感、さらには、米中貿易摩擦による制裁と報復の応酬の影響を受けて米ドルは一時105円台まで円高が進行しました。その後、米中閣僚級通商協議の開催見通しから、政治的な緊張の緩和及び長期金利の上昇を受けて米ドルは、108円台まで値を戻し、当第2四半期連結会計期間末には1米ドル＝108円08銭で取引を終了しました。

また、新興国通貨におきましては、2019年6月以降、米連邦準備理事会（FRB）の利下げ観測がドル安圧力となり持ち直す傾向にありましたが、8月に入り米中貿易摩擦等による世界経済の不透明感からリスク回避姿勢が強まり、多くの新興国通貨が下落しました。中でもトルコリラは対円で一時的に12%急落するなど総じて軟調な動きとなりました。

このような市場環境のもと、当社グループの主力事業であるFX取引事業を中核とする金融商品取引事業は、子会社であるトレーダーズ証券株式会社（以下、「トレーダーズ証券」といいます。）において、『みんなのFX』（FX証拠金取引）、『LIGHT FX』（FX証拠金取引）、『みんなのシストレ』（自動売買ツールを利用したFX証拠金取引）及び『みんなのオプション』（FXオプション取引）のサービスを提供し収益確保を図ってまいりました。FX収益を確保する上で重要となるFX顧客からの預り資産は、トレーダーズ証券のマーケティング戦略が功を奏し、当第2四半期連結会計期間末において42,482,683千円（前連結会計年度末比9,743,600千円増）まで増加しました。当第2四半期連結累計期間のトレーディング損益は、2,877,480千円（前年同期比1,420,402千円増、97.5%増）と前年同期を大きく上回りました。一方、子会社である株式会社ZEエナジー（以下、「ZEエナジー」といいます。）が営む再生可能エネルギー関連事業は、『もがみまち里山発電所』の木質バイオマスガス化発電装置において事業の採算性を確保できる発電が行えるよう継続して改良作業を進めてまいりましたが、目標とする発電量を達成するまでにはいたりませんでした。また、当第2四半期連結累計期間において炭化装置の納品・売上を予定しておりましたが、納品が2019年10月にずれ込んだことから、当第2四半期連結累計期間における外部顧客に対する営業収益は、8,990千円（前年同期比3,479千円増、63.1%増）に留まりました。また、子会社である株式会社Nextop.Asia（以下、「Nextop.Asia」といいます。）が営むシステム開発・システムコンサルティング事業は、トレーダーズ証券向けにFX取引システムの開発を行うとともに、外部顧客向けに仮想通貨取引に関連したシステム開発を行い収益の確保を図ってまいりました。当第2四半期連結累計期間のシステム開発・システムコンサルティング事業における外部顧客に対する営業収益は、252,480千円（前年同期比211,150千円増、510.9%増）と前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、営業収益合計は、3,167,014千円（前年同期比1,642,476千円増、107.7%増）となり、金融費用、原価等を差し引いた純営業収益合計は、2,955,029千円（前年同期比1,540,213千円増、108.9%増）となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、FX取引事業において、顧客取引及び顧客預り資産の増加を図るため広告宣伝費を増加させたことから、取引関係費が644,918千円（前年同期比221,787千円増、52.4%増）に増加いたしました。事務費において前年同期に計上した外部調査委員会費用の発生がなくなり53,281千円（前年同期比178,124千円減、77.0%減）に減少したこと及びのれん償却が2018年11月に終了したことで計上がなくなったこと（前年同期比123,104千円減）等により、1,626,916千円（前年同期比61,085千円減、3.6%減）と前年同期に比べ減少しました。

その結果、営業利益は1,328,113千円（前年同期は、273,186千円の営業損失）となりました。

営業外費用は、2019年3月に借入金2,084,800千円をデット・エクイティ・スワップにより株式化したことから、支払利息が32,436千円（前年同期比34,158千円減、51.3%減）に減少したこと及び為替差損が3,818千円（前年同期比19,910千円減、83.9%減）に減少したこと等により、38,741千円（前年同期比57,676千円減、59.8%減）となりました。

その結果、経常利益は1,294,278千円（前年同期は、347,951千円の経常損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間において、特別利益及び特別損失の計上はありませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は1,147,076千円（前年同期は、518,110千円の損失）となりました。

(金融商品取引事業)

トレーダーズ証券が営む当セグメントの営業収益は2,902,662千円（前年同期比1,436,075千円増、97.9%増）、セグメント利益は1,209,424千円（前年同期比850,951千円増、237.4%増）となりました。

なお、外国為替取引事業の当第2四半期連結会計期間末における顧客口座数、預り資産は以下のとおりとなりました。

顧客口座数	364,491口座	(前連結会計年度末比	21,731口座増)
預り資産	42,482,683千円	(前連結会計年度末比	9,743,600千円増)

(再生可能エネルギー関連事業)

ZEエナジーが営む当セグメントの営業収益は9,170千円(前年同期比3,479千円増、61.1%増)、セグメント損失は143,103千円(前年同期は197,388千円の損失)となりました。

(システム開発・システムコンサルティング事業)

Nextop.Asiaが営む当セグメントの営業収益は859,725千円(前年同期比493,594千円増、134.8%増)となりました。同収益の内訳は、グループ会社であるトレーダーズ証券に対するFX取引システムの開発・保守運用等の売上が607,244千円(前年同期比282,443千円増、87.0%増)、外部顧客に対する売上が252,480千円(前年同期比211,150千円増、510.9%増)となります。セグメント損益は312,441千円の利益(前年同期は97,460千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 連結財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して10,768,263千円増加し47,741,295千円となりました。これは主に、現金及び預金が951,674千円増加したこと、FX取引にかかる顧客分別金信託が9,416,000千円増加したこと及びFX取引等にかかる短期差入保証金が215,523千円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して9,628,471千円増加し43,311,877千円となりました。これは主に、FX取引カバー先に対する評価損等の未払債務であるトレーディング商品が531,023千円減少したものの、外国為替受入証拠金が9,314,748千円増加したこと及び短期借入金が増加した977,500千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,139,791千円増加し4,429,418千円となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が1,147,076千円となったこと等によるものです。

② 連結キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、41,696千円の収入超過(前年同期は569,859千円の支出超過)となりました。これは主に、FX取引カバー先に対する評価損等の未払債務(トレーディング商品)支払による支出498,202千円、FX取引等にかかる短期差入保証金増加による支出215,523千円、FX取引等にかかる顧客からの受入保証金(9,169,176千円)を顧客分別金信託への預入れ(9,416,000千円)が一時的に上回ったことで支出超となった246,824千円及び法人税等の支払による支出328,026千円等の支出があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,294,278千円(前年同期は460,636千円の損失)となったことで資金が増加したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、198,300千円の支出超過(前年同期は306,637千円の支出超過)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出57,458千円、投資有価証券の取得による支出101,932千円等により資金が減少したものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、1,111,587千円の収入超過(前年同期は592,945千円の収入超過)となりました。これは主に、短期借入金の増加977,500千円及び社債発行による収入150,000千円により資金が増加したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表の2020年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日発表の「繰延税金資産の計上及び業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,630,089	2,581,763
完成工事未収入金	20,476	—
たな卸資産	5,170	78,268
商品	610	591
材料貯蔵品	0	0
未成工事支出金	4,559	69,795
仕掛品	—	7,881
預託金	30,990,102	40,406,116
顧客分別金信託	30,985,000	40,401,000
その他の預託金	5,102	5,116
トレーディング商品	276,905	244,083
短期差入保証金	2,795,311	3,010,834
外国為替差入証拠金	2,711,335	3,010,834
その他の差入保証金	83,976	—
その他	381,985	345,999
貸倒引当金	△8,547	△8,547
流動資産計	36,091,493	46,658,518
固定資産		
有形固定資産	33,773	41,610
建物	48,228	52,769
減価償却累計額	△34,741	△36,237
建物(純額)	13,486	16,532
機械装置及び運搬具	17,977	17,906
減価償却累計額	△17,457	△17,550
機械装置及び運搬具(純額)	520	355
工具、器具及び備品	68,280	77,628
減価償却累計額	△50,236	△54,159
工具、器具及び備品(純額)	18,043	23,469
土地	0	0
リース資産	184,515	184,515
減価償却累計額	△182,791	△183,261
リース資産(純額)	1,723	1,253
無形固定資産	466,386	442,879
ソフトウェア	465,453	435,053
その他	932	7,826
投資その他の資産	378,255	597,268
投資有価証券	138,458	235,044
長期立替金	224,476	223,786
繰延税金資産	177,033	289,066
その他	63,603	74,099
貸倒引当金	△225,316	△224,728
固定資産計	878,415	1,081,759
繰延資産		
開業費	3,123	1,017
繰延資産計	3,123	1,017
資産合計	36,973,032	47,741,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	550,405	19,382
預り金	134,232	35,817
顧客からの預り金	180	180
その他の預り金	134,052	35,637
受入保証金	31,298,682	40,566,274
外国為替受入証拠金	31,251,525	40,566,274
その他の受入保証金	47,157	-
短期借入金	115,000	1,092,500
1年内返済予定の長期借入金	130,836	130,856
リース債務	1,017	1,054
未払法人税等	376,854	297,192
その他	353,530	315,405
流動負債計	32,960,560	42,458,482
固定負債		
社債	250,000	400,000
長期借入金	390,027	374,594
リース債務	905	368
退職給付に係る負債	24,276	24,574
その他	57,635	53,857
固定負債計	722,845	853,394
負債合計	33,683,405	43,311,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,329,587	1,500,000
資本剰余金	7,593,230	842,120
利益剰余金	△10,629,347	2,098,427
自己株式	△3,178	△3,178
株主資本合計	3,290,292	4,437,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	37
為替換算調整勘定	△2,713	△9,338
その他の包括利益累計額合計	△2,657	△9,301
非支配株主持分	1,992	1,350
純資産合計	3,289,627	4,429,418
負債・純資産合計	36,973,032	47,741,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益		
受入手数料	9,668	18,065
トレーディング損益	1,457,078	2,877,480
金融収益	817	2,484
完成工事高	4,830	3,775
その他の売上高	44,407	257,614
その他	7,735	7,593
営業収益計	1,524,537	3,167,014
金融費用	3,008	20,887
完成工事原価	48,563	26,608
その他の原価	58,150	164,488
純営業収益	1,414,816	2,955,029
販売費及び一般管理費		
取引関係費	423,131	644,918
人件費	540,252	523,064
不動産関係費	202,678	208,835
事務費	231,405	53,281
減価償却費	89,029	88,165
のれん償却額	123,104	—
租税公課	35,912	53,334
その他	42,488	55,317
販売費及び一般管理費合計	1,688,002	1,626,916
営業利益又は営業損失(△)	△273,186	1,328,113
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,931	3,897
受取保険金	13,643	—
その他	5,077	1,008
営業外収益合計	21,652	4,906
営業外費用		
支払利息	66,594	32,436
資金調達費用	3,949	—
開業費償却	2,102	2,046
為替差損	23,728	3,818
その他	42	440
営業外費用合計	96,417	38,741
経常利益又は経常損失(△)	△347,951	1,294,278

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
特別利益		
新株予約権戻入益	4,445	—
特別利益合計	4,445	—
特別損失		
減損損失	115,605	—
投資有価証券評価損	1,524	—
特別損失合計	117,130	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△460,636	1,294,278
法人税、住民税及び事業税	57,800	259,876
法人税等調整額	—	△112,033
法人税等合計	57,800	147,843
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△518,436	1,146,435
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△326	△641
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△518,110	1,147,076

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△518,436	1,146,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	△18
為替換算調整勘定	△383	△6,674
その他の包括利益合計	△295	△6,693
四半期包括利益	△518,732	1,139,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△518,376	1,140,432
非支配株主に係る四半期包括利益	△355	△690

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△460,636	1,294,278
減価償却費	89,029	88,165
のれん償却額	123,104	—
受取利息及び受取配当金	△2,931	△3,897
支払利息	66,594	32,436
為替差損益(△は益)	6,461	5,007
資金調達費用	3,949	—
その他の営業外損益(△は益)	602	2,357
新株予約権戻入益	△4,445	—
減損損失	115,605	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,524	—
トレーディング商品の増減額	△624,192	△498,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,440	△73,098
売上債権の増減額(△は増加)	△1,195	12,218
顧客分別金信託の増減額(△は増加)	△8,555,000	△9,416,000
立替金の増減額(△は増加)	△744	2,696
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△88,933	△215,523
その他の流動資産の増減額(△は増加)	215,889	51,624
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,231	△588
預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	8,486,023	9,169,176
その他の流動負債の増減額(△は減少)	147,081	△47,853
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△4,830	△3,770
その他	3,370	1,016
小計	△487,344	400,044
利息及び配当金の受取額	2,931	3,897
利息の支払額	△81,023	△34,219
法人税等の支払額	△4,422	△328,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	△569,859	41,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,694	△14,994
無形固定資産の取得による支出	△129,019	△57,458
投資有価証券の売却による収入	1,626	—
投資有価証券の取得による支出	△102,100	△101,932
その他	△72,449	△23,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306,637	△198,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	977,500
社債の発行による収入	—	150,000
株式の発行による収入	613,130	—
長期借入金の返済による支出	△13,060	△15,413
非支配株主からの払込みによる収入	3,350	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△464	△499
その他	△11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	592,945	1,111,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,236	△3,308
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△284,788	951,674
現金及び現金同等物の期首残高	1,680,179	1,630,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,395,390	2,581,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ317,239千円増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,287,187千円、資本準備金が6,537,358千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

2019年6月25日開催の第20回定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について承認可決され、2019年7月30日付で効力が発生しており、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,829,587千円、7,079,758千円減少し、繰越利益剰余金が11,580,698千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,500,000千円、資本準備金が500,000千円となっております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金融商品 取引事業	再生可能 エネルギー 関連事業	システム開 発・システ ムコンサル ティング 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する 営業収益	1,466,587	5,510	41,329	1,513,427	11,109	1,524,537	—	1,524,537
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	—	180	324,801	324,981	13,717	338,699	△338,699	—
計	1,466,587	5,690	366,131	1,838,409	24,827	1,863,236	△338,699	1,524,537
セグメント利益 又は損失(△)	358,473	△197,388	△97,460	63,624	△96,937	△33,313	△239,872	△273,186

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外金融商品取引事業、電子機器レンタル事業、管理事務受託事業、投資事業、仮想通貨交換事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,872千円には、セグメント間取引消去、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金融商品 取引事業	再生可能 エネルギー 関連事業	システム開 発・システ ムコンサル ティング 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する 営業収益	2,902,662	8,990	252,480	3,164,134	2,880	3,167,014	—	3,167,014
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	—	180	607,244	607,424	18,021	625,446	△625,446	—
計	2,902,662	9,170	859,725	3,771,558	20,901	3,792,460	△625,446	3,167,014
セグメント利益 又は損失(△)	1,209,424	△143,103	312,441	1,378,762	△16,456	1,362,305	△34,192	1,328,113

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外金融商品取引事業、電子機器レンタル事業、管理事務受託事業、投資事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△34,192千円には、セグメント間取引消去、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、トレーダーズ証券における外国為替受入証拠金の増加に伴う顧客分別金信託の増加等により、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間末日の報告セグメントの資産の金額は、「金融商品取引事業」において10,754,144千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間まで報告セグメントとしていた「仮想通貨交換事業」は、当セグメントを構成していた、みんなのビットコインの全株式を譲渡したことにより、前第3四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。